

第6回電子処方箋等検討ワーキンググループ

資料1 別添

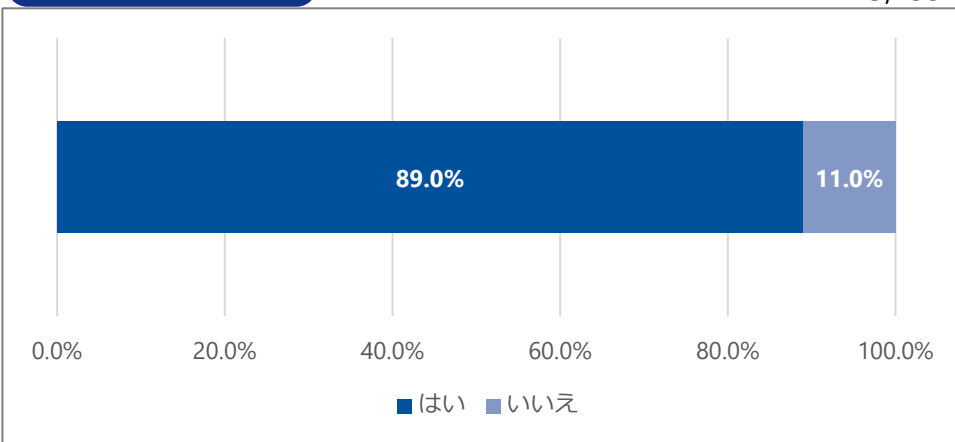


【電子処方箋】次年度開発ニーズ調査 併用注意チェック（1/2）

【質問】他の医療機関・薬局での過去の処方・調剤情報を対象に、今回処方・調剤する薬剤との併用注意を自動的にチェックする機能について、貴施設で実装したいと思いますか。（現行は、併用禁忌のみチェックがかかります）

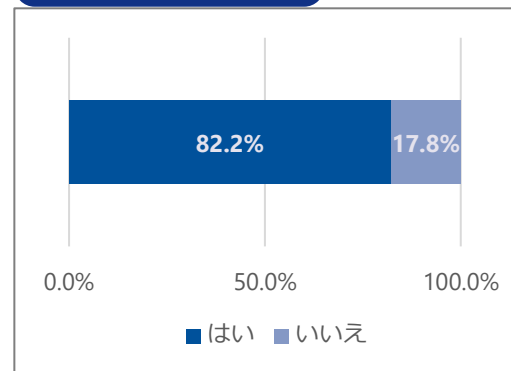
全体の回答

n=5,159



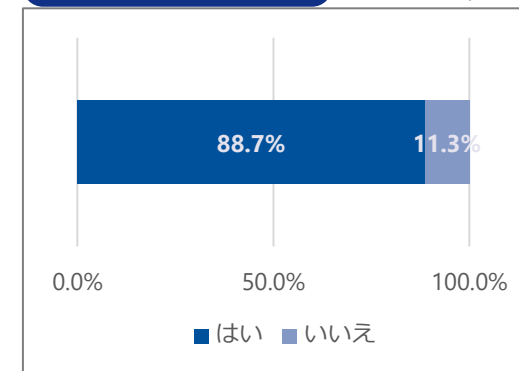
病院の回答

n=365



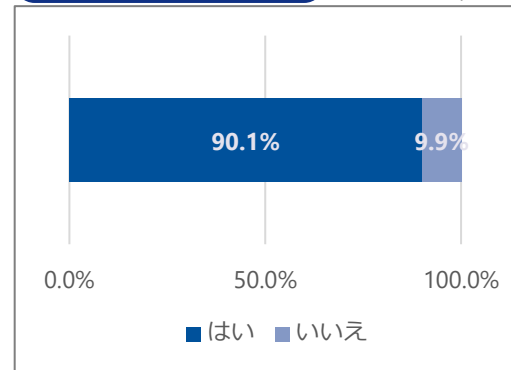
医科診療所の回答

n=2,022



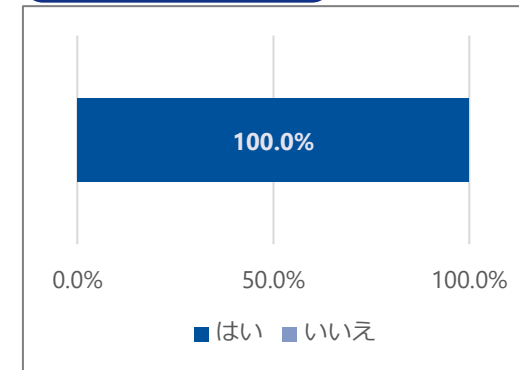
薬局の回答

n=2,769



歯科診療所の回答

n=3



「はい」と回答した主な理由

- ・禁忌ではないが、併用により血中濃度上昇の危険性がある薬剤が各処方医に周知されるため
- ・医師や薬剤師によって併用注意に対する考え方に違いが生じることで、患者に不安を与えてしまうことがあるが、それを予防することができるから
- ・この機能がないと中途半端で使えないから

「いいえ」と回答した主な理由

- ・チェックがかかりすぎること、重要なアラートを見逃してしまうから
- ・併用禁忌のみで十分だから
- ・現行のお薬手帳で十分確認できるから

【質問】併用注意に加えて実装することで、医療面・業務面で有用と考えられる機能があれば記載してください。

- ・医師が併用注意を考慮したうえでの処方であるかを共有できるコメント機能
- ・併用注意の重要度や危険度等のランクに係る機能

【電子処方箋】次年度開発ニーズ調査 併用注意チェック（2/2）

【質問】現在の業務において、お薬手帳で過去の薬剤を確認するのに、患者一人当たりどれくらいの時間がかかりますか。

- ・「1～5分」が71.3%
- ・患者の服用している薬剤や患者の状態による。

【質問】併用注意に関する業務の中でこれまで困った事例などがありましたら、記載してください。（例：併用注意を発見したが、疑義照会すべきかどうかを悩むことがあった等）

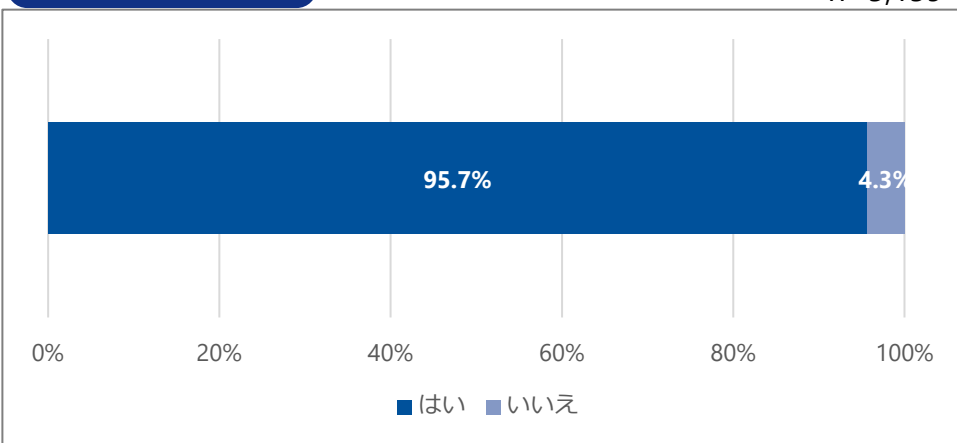
- ・併用注意についてどこまで注意すべきなのか、判断が難しい。
- ・併用注意について、禁忌ではないので疑義照会をすべきかどうか迷うことが多い。
- ・患者がお薬手帳を持参していなかったため、併用薬を確認することができなかった。
- ・患者がお薬手帳を持参していたものの、全ての薬剤情報が載っていなかったり、実態と異なっていた。

【電子処方箋】次年度開発ニーズ調査 薬剤アレルギーとのチェック（1/2）

【質問】他の医療機関で登録された薬剤アレルギー歴の情報を基に、今回新たに処方・調剤する薬剤がアレルギーに該当しないかを自動的にチェックする機能について、貴施設で実装したいと思いますか。

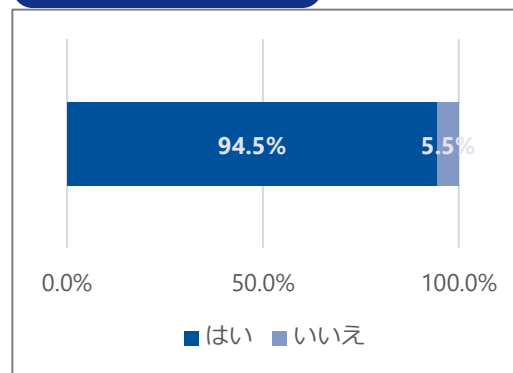
全体の回答

n=5,159



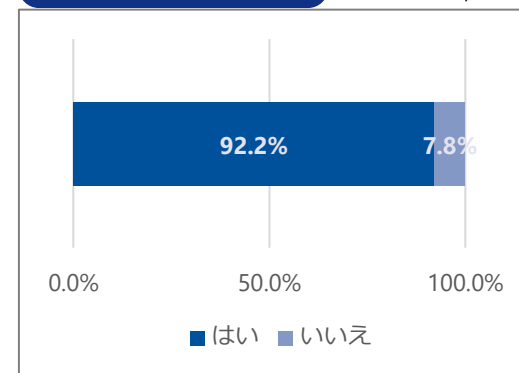
病院の回答

n=365



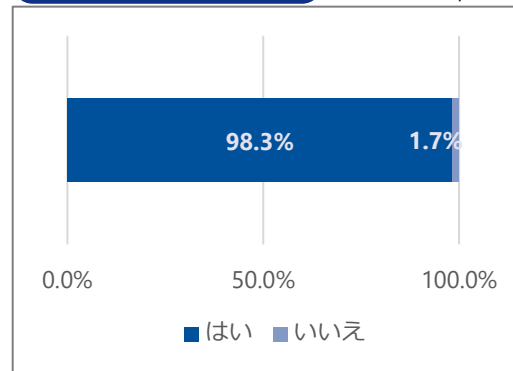
医科診療所の回答

n=2,022



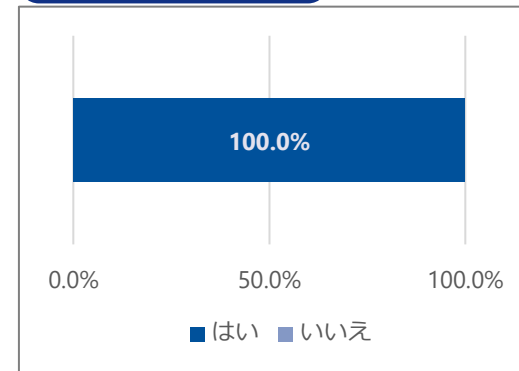
薬局の回答

n=2,769



歯科診療所の回答

n=3



「はい」と回答した主な理由

- ・患者がアレルギーの有無は覚えていても、薬剤名まで具体的に覚えていることが少ないから
- ・注射剤のアレルギーに関しては、患者が覚えていないことが多いから
- ・副作用発現のリスク低下につながるから

「いいえ」と回答した主な理由

- ・チェックがかかりすぎること、重要なアラートを見逃してしまうから
- ・どの程度のアレルギー症状なのか、詳細までわからないと意味がないから
- ・既にレセコンに実装されている機能であるから

【質問】薬剤アレルギー歴とのチェックに加えて実装することで、医療面・業務面で有用と考えられる機能があれば記載してください。

- ・アレルギーを引き起こした薬剤と類似の構造式を持つ薬剤を表示する機能
- ・薬剤アレルギー歴の範囲の中に、OTC、サプリメント等も入ると良い
- ・薬剤アレルギー歴がある薬剤について、一般名・商品名ともに表示する機能

【電子処方箋】次年度開発ニーズ調査 薬剤アレルギーとのチェック（2/2）

【質問】現在の業務において、薬剤アレルギー歴を確認するのに、患者一人当たりどれくらいの時間がかかりますか。

- ・「1～5分」が72.4%
- ・初診の方が再診よりも確認に時間がかかる
- ・患者の理解度によって、確認時間に差が出る

【質問】薬剤アレルギー歴に関する業務の中でこれまで困った事例などがありましたら、記載してください。（例：薬剤アレルギーがあると申告してきた患者が、対象の薬剤名を覚えておらず確認が取れなかった等）

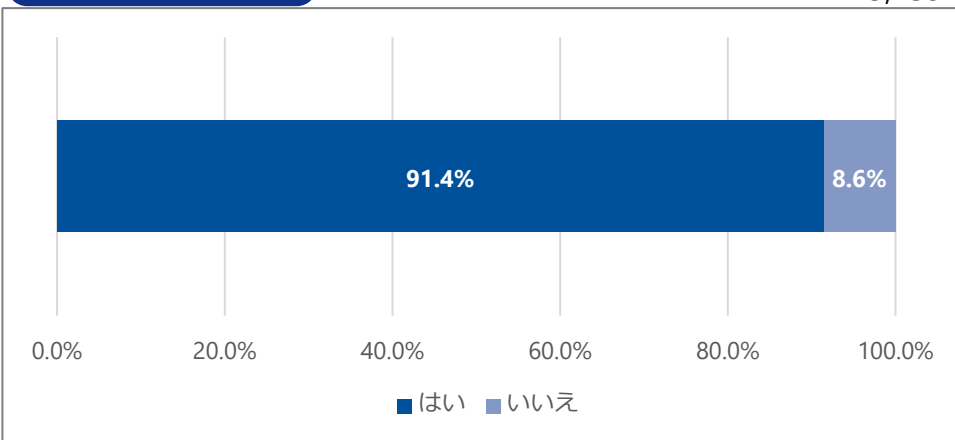
- ・アレルギーが生じた薬の**薬剤名を患者が正確に覚えていない**。（イライラの薬、血圧の薬など）
- ・患者が**いつ頃発症したアレルギーなのかを覚えていない**、あるいは正確に伝えることができない。
- ・特定の成分（例：L-メントール）についてアレルギーがある患者に対して、賦形剤に**当該成分が入っていないかをメーカーにまで確認**しなくてはならず、大変手間がかかった。

【電子処方箋】次年度開発ニーズ調査 食物アレルギーとのチェック（1/2）

【質問】他の医療機関で登録された食物アレルギー歴の情報を基に、今回新たに処方・調剤する薬剤がアレルギーに該当しないかを自動的にチェックする機能について、貴施設で実装したいと思いますか。

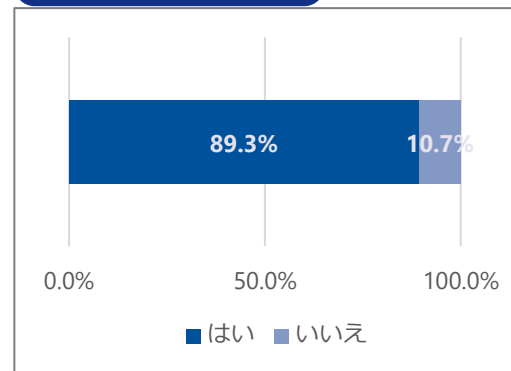
全体の回答

n=5,159



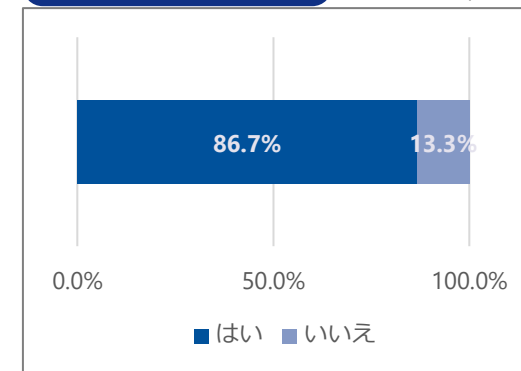
病院の回答

n=365



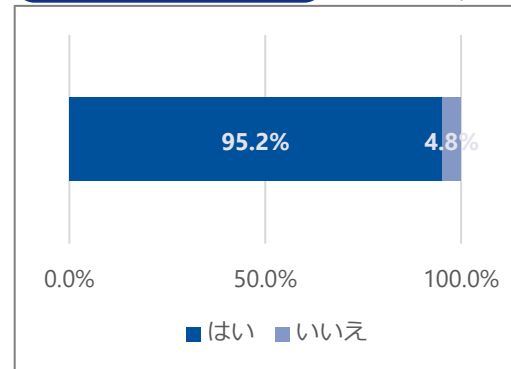
医科診療所の回答

n=2,022



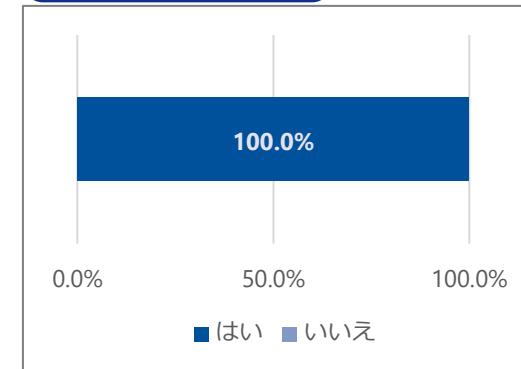
薬局の回答

n=2,769



歯科診療所の回答

n=3



「はい」と回答した主な理由

- ・どの程度食物アレルギーと医薬品に関係があるかの判断がつくようになるから
- ・特に乳幼児・小児のアレルギーとのチェックがかかると有益だと思う

「いいえ」と回答した主な理由

- ・チェックがかかりすぎること、重要なアラートを見逃してしまうから
- ・あまり食物アレルギーを確認する状況が生じないから
- ・食物アレルギーはアレルギーの範囲が不明瞭だから

【質問】食物アレルギー歴とのチェックに加えて実装することで、医療面・業務面で有用と考えられる機能があれば記載してください。

- ・入院時の食事との連携に係る機能
- ・アルコール、ラテックス、ハウスダスト、花粉等のアレルギー情報に係る機能
- ・アドレナリン自己注射薬処方の有無に係る機能

【電子処方箋】次年度開発ニーズ調査 食物アレルギーとのチェック（2/2）

【質問】現在の業務において、食物アレルギー歴を確認するのに、患者一人当たりどれくらいの時間がかかりますか。

- ・「1～5分」が75.5%
- ・初診の方が再診よりも確認に時間がかかる
- ・特に確認していない

【質問】食物アレルギー歴に関する業務の中でこれまで困った事例などがありましたら、記載してください。（例：食物アレルギーがないと申告してきた患者に牛乳アレルギーがあり、特定の薬剤で副作用を引き起こした等）

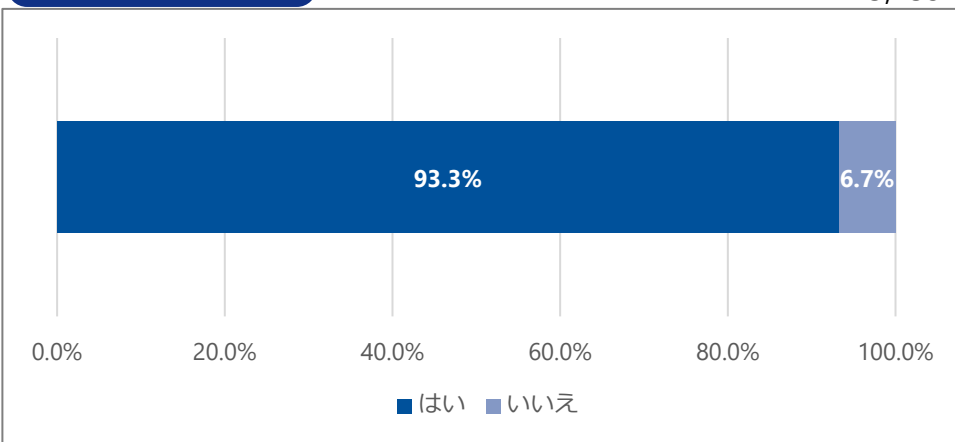
- ・牛乳アレルギーの患者に対して乳糖が出ている事例があったが、見逃しそうになった
- ・（卵アレルギーの患者に対して、）卵アレルギーの申告がなく、過去にリゾチーム（卵白由来の酵素）の処方があった

【電子処方箋】次年度開発ニーズ調査 検査値とのチェック（1/2）

【質問】他の医療機関で登録された検査値の情報を基に、今回新たに処方・調剤する薬剤が禁忌・注意に該当しないかを自動的にチェックする機能について、貴施設で実装したいと思いますか。

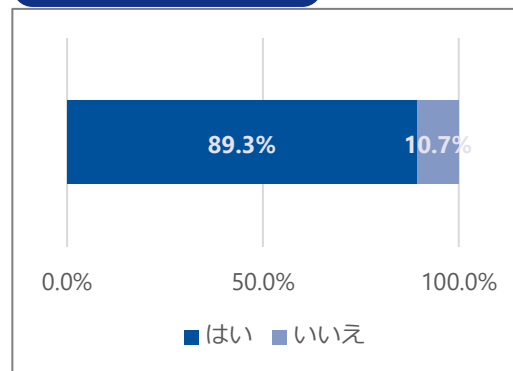
全体の回答

n=5,159



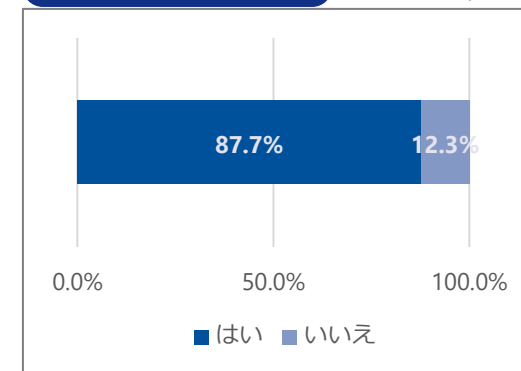
病院の回答

n=365



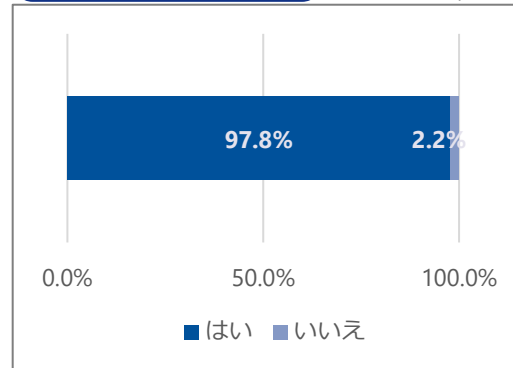
医科診療所の回答

n=2,022



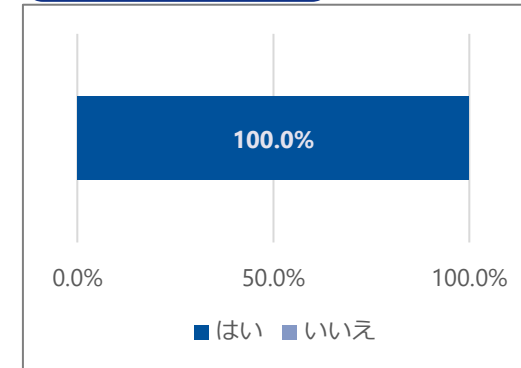
薬局の回答

n=2,769



歯科診療所の回答

n=3



「はい」と回答した主な理由

- ・患者から口頭で聞き取った検査情報の正確性が保証できないため
- ・患者が会話できない状態の時に役に立つ
- ・患者に検査情報を提出してもらう手間が省ける

「いいえ」と回答した主な理由

- ・いつの検査値であるかによって判断が異なり、古いデータは役に立たないため
- ・これ以上チェック機能を増やすと確認に時間がかかるから

【質問】検査値とのチェックに加えて実装することで、医療面・業務面で有用と考えられる機能があれば記載してください。

- ・身長、体重、CKD、手術歴、移植情報
- ・クレアチニンクリアランス(CCr)を自動で算出する機能

【電子処方箋】次年度開発ニーズ調査 検査値とのチェック（2/2）

【質問】現在の業務において、検査値を確認するのに、患者一人当たりどれくらいの時間がかかりますか。

- ・「1～5分」が52.8%、「5～10分」が34.4%、「10～15分」が7.2%
- ・初診の方が再診よりも確認に時間がかかる
- ・患者の状態や実施している検査項目による

【質問】検査値に関する業務の中でこれまで困った事例などがありましたら、記載してください。（例：腎機能が低下している患者に対して処方できない薬剤を、検査値がわからず」調剤してしまった等）

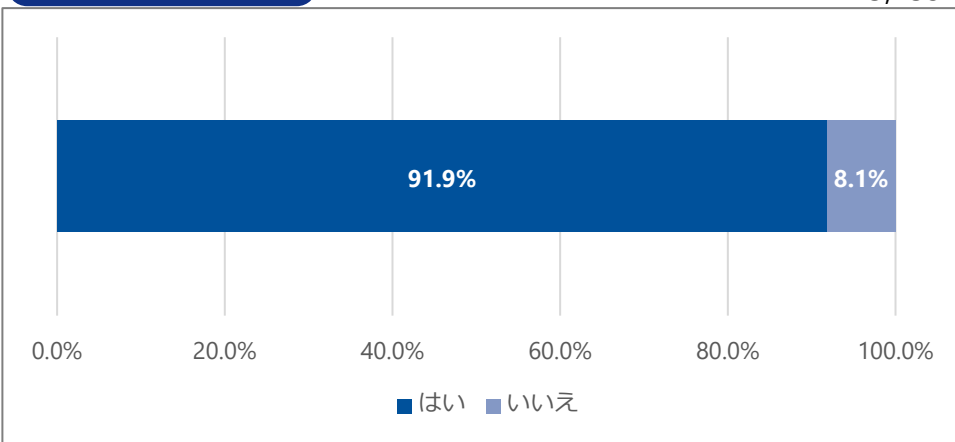
- ・患者が検査値を覚えておらず、検査値が分かる用紙もなく調剤の判断に困った
- ・初診で来られた患者に急性疾患で抗生剤や解熱鎮痛剤を投与するとき、当該患者が検査データを持ってこられることは少なく、肝機能や腎機能の低下の有無がわからない。
- ・医療機関ごとに基準値が異なっている場合、基準値の上限・下限がわからず判断に困る
- ・高齢者の場合、高マグネシウム血症になりやすいが、マグネシウム値が不明のため用量が適しているか判断がつかない場合がある

【電子処方箋】次年度開発ニーズ調査 傷病名とのチェック（1/2）

【質問】他の医療機関で登録された傷病名の情報を基に、今回新たに処方・調剤する薬剤が禁忌・注意に該当しないかを自動的にチェックする機能について、貴施設で実装したいと思いますか。

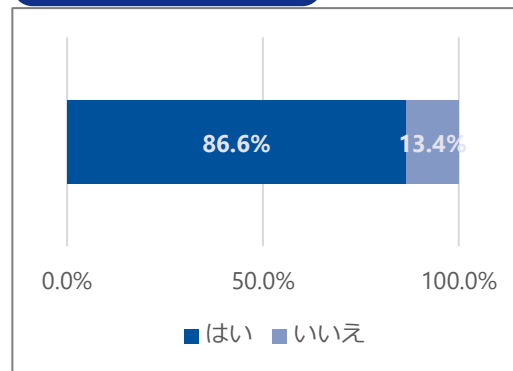
全体の回答

n=5,159



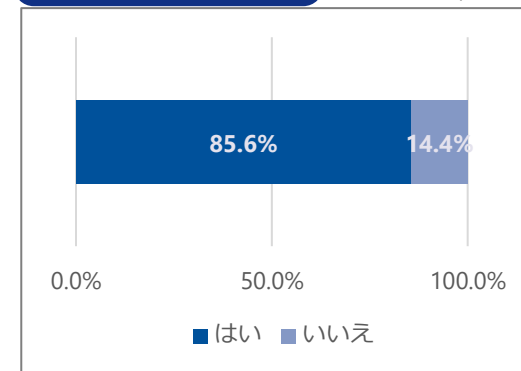
病院の回答

n=365



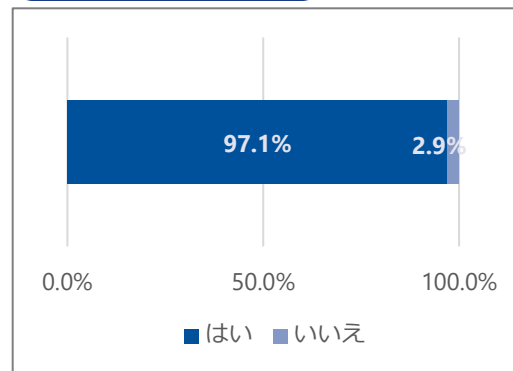
内科診療所の回答

n=2,022



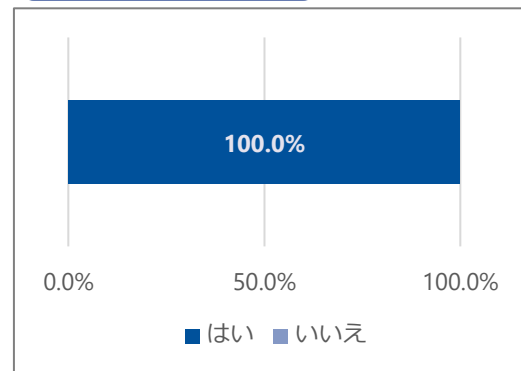
薬局の回答

n=2,769



歯科診療所の回答

n=3



「はい」と回答した主な理由

- ・傷病名を正確に把握していない患者もいるため、正確な傷病名があれば、薬剤の鑑査・提案に役立てることができるため
- ・診断名が薬局に開示されることで、薬剤名の妥当性を判断することができるため
- ・患者への相談業務に役立てることができるため

「いいえ」と回答した主な理由

- ・いわゆる保険病名なのか、そうではないかの区別がつかないと思うから
- ・患者の問診から判断できるため
- ・情報量やチェックが多いと処理しきれないため

【質問】傷病名（あるいは既往歴）とのチェックに加えて実装することで、医療面・業務面で有用と考えられる機能があれば記載してください。

- ・治癒・寛解等の状況
- ・（処方薬に対する）処方医の了解済チェック機能
- ・その傷病名で使用可能な薬剤であるかの確認機能

【電子処方箋】次年度開発ニーズ調査 傷病名とのチェック（2/2）

【質問】現在の業務において、傷病名（あるいは既往歴）を確認するのに、患者一人当たりどれくらいの時間がかかりますか。

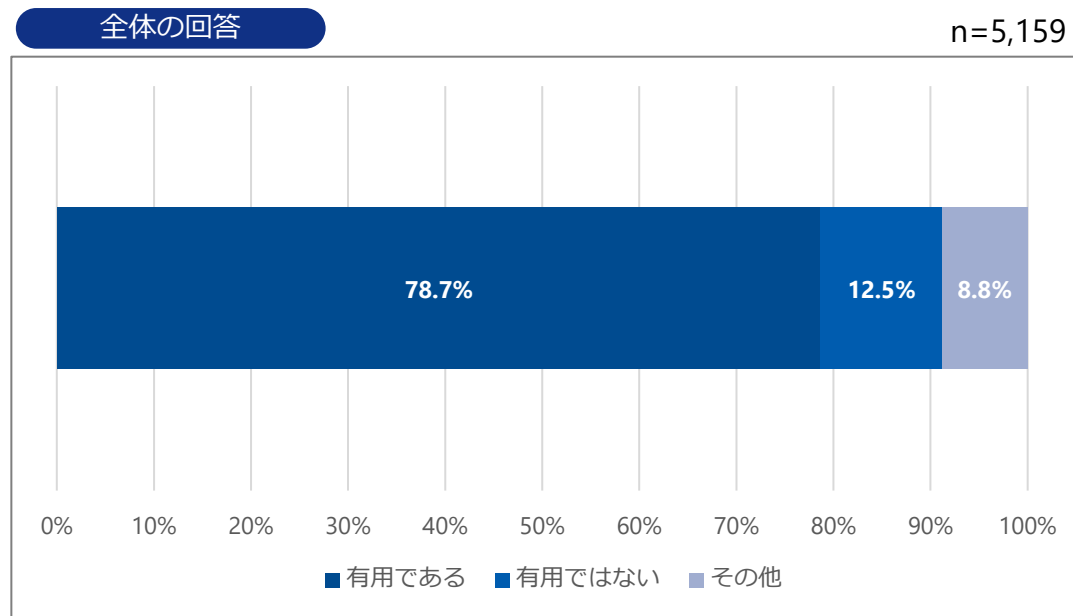
- ・「1～5分」が60.1%、「5～10分」が27.6%、「10～15分」が6.4%
- ・薬局では、なかなか確認できない場合が多い
- ・傷病名を把握していない患者もいる

【質問】傷病名（あるいは既往歴）に関する業務の中でこれまで困った事例などがありましたら、記載してください。（例：特定の疾患を持つ患者には禁忌の薬剤を既往歴が確認できなかったため、処方してしまいそうになった等）

- ・緑内障患者に対して、緑内障には禁忌である抗コリン剤の投与をしてしまったことがある。
- ・ドクターショッピングをしている患者に、重複して処方された薬であることを服薬指導後で気付いた。
- ・どのような疾患か分からないので、薬剤の処方があるのか分からない場合がある。（のどの炎症止めと思い、服薬指導していたところ鼻出血であったため、説明をし直した等）
- ・“医師と話しているので”という理由で薬局窓口で改めて薬剤師に傷病名を話すことを嫌がる患者が多い。

【電子処方箋】次年度開発ニーズ調査 マイナポータルを活用した処方箋の事前送付

【質問】患者があらかじめマイナポータルに「かかりつけ薬局」を登録しておくことで、医療機関で電子処方箋が発行された後（※）、当該登録薬局に処方箋が送信され、患者の来局前に薬局で調剤を開始できる機能がある場合、有用だと思いますか。※電子処方箋に対応する医療機関において、患者から「かかりつけ薬局」への電子処方箋を事前送付を希望する旨、確認できたものとします。



「はい」と回答した主な理由

- ・「電子処方箋を選択したから、手ぶらで薬局へ行っていいよね。行ったら、お薬はもう準備されているよね。」と、マイナンバーカード持参で電子処方箋を選択した人の多くがそう言われるため。患者が電子処方箋を使用する最大のメリットはこの機能だと思う。
- ・かかりつけ薬局として、安定して顧客に対応できることにより業務も在庫も薬局の経営も安定するため。
- ・あらかじめ処方箋原本を取得できることで、医薬品提供不足や在庫のない医薬品の対応ができるため。

「いいえ」と回答した主な理由

- ・現時点で、SNSやメールを使った処方箋予約サービスがあるため、電子処方箋にこれ以上、機能を追加して、パソコン動作を重くしたり、維持費や開発費にお金をかけないでほしい。
- ・患者が必ず登録したかかりつけ薬局に行くとは限らないので、自動送付にしないほうが良い。

【電子処方箋】次年度開発ニーズ調査 電子処方箋管理サービスに実装してほしい機能

【質問】 電子処方箋管理サービスに実装してほしい機能があれば、記載してください。

【医療機関-医療機関、医療機関-薬局間の機能】

- ・ 疑義照会について、医師と薬剤師間でチャットでやり取りできる機能
- ・ OTC併用の場合の注意事項が分かる機能
- ・ 睡眠導入剤がある月に既に処方されている場合、同一月内に別の医療機関では処方しないようアラートが出る機能。
- ・ 処方日数制限がある薬に対して、日数を超過して処方している際に警告が出る機能
- ・ 性別により処方できない薬剤のチェック機能

【医療機関-患者、薬局-患者間の機能】

- ・ 患者側に調剤状況を伝える機能
- ・ 患者とやり取りができる機能